

# 業種別景況予測

## 2020年10月～12月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「雇調金を多用している業界内の他社は、段階的に廃止される特別措置が終わった後の雇用の維持が不可能と心配している(紡績業)」とのコメントが寄せられた。また、BtoBからBtoCやBtoDへの販路開拓も必要になってくる様子である。			
織維 ファッション			「業界は少しずつ前向きになってきているが、依然として不透明感が強い(プリント加工業)」 「コロナの影響が続き、毎年の繁忙期のはずが好転の兆しなし(繊維加工業)」 「入園入学用の商品が入り、ヒットしているキャラクターものを取扱うことになっており、灯りを待っている(繊維加工業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「自動車関連製品の回復が見られる。90%前後まで戻ってきた(工業用薬剤製造)」 「食品加工業は中食需要の高まりを受け、受注数は上昇しているが、外食向け工場は減少傾向にある(食品加工業)」 「コロナの影響で紙媒体の広告が、かなり減少すると思われる(印刷業)」とのコメントが寄せられた。			
建設			「コロナの影響が出てきており、今後の見通しがつかめない(設置業)」 「建築工事の新築案件がない(塗装業)」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「今期10月位より荷動きが低下、資金繰りはリーマンショック時の借入が終了時期となったため助かっている(倉庫業)」 「全体的にデバンニング(コンテナから荷物を取り出す作業)数が激減している。問屋・卸屋への出荷が減り、直送(店直・客直)の出荷が増えており、出荷数も細かくなっている(運送業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「取引先の売上が悪化している(税理士業)」 「国等の給付金・支援金に関する問い合わせが増えているが、不正申請等がないかどうか慎重に対応せざるを得ない(税理士業)」 「助成金申請件数が落ち着き、通常に戻りつつある(社労士事務所)」 「飲食店様向けの保険加入・見直しが厳しくなっている(損保代理店)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「不必要なものは買わない、そして買えない世の中のため、必要とはいえ菓子売れにくいと思う(菓子製造販売)」 「飲食店向けの販売量は減少したままだが、店頭販売については、家庭での消費が多いこともあり、好調である(食肉小売)」とのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「コロナ禍の中、毎日訪問することで感染するリスクを負っている。目に見えないものとの戦いを息長く続けていくことは本当に辛いけど“健康管理”に重きを置く日々(介護業)」 「旅行者はGoToキャンペーンで人が動いているが、バス会社は動かない(旅行業)」 「コロナの影響がなくなるよう願うのみ(飲食業)」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 令和2年10月 ●調査対象企業 271社 ●回答数 149社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111